

第 32 回 旧 RD 最終処分場問題連絡協議会の開催結果

■日 時 令和 2 年 2 月 13 日 (木) 19:00~21:04

■場 所 栗東市コミュニティセンター治田東

■主な質疑・ご意見

1. 前回の開催結果の確認について

①深堀穴は掘削の関係で水位が下がりきらない部分があるが、雨が降って水が入れ替わることはあると思うと書いているが入れ替わるものなのか。検証までに綺麗にならなかつたら対策を何か考えているのか。

⇒EC の水質項目が降雨により一時的に変動する状況が見られ、ガスの発生状況等いろいろな側面から注視していきたい。また、ガスが発生する状態が想定されるようであれば改善する対策を考えていく必要があると考えている、と回答しました。

2. 工事等の進捗状況について

②二次対策工事期間中に見つかった廃棄物はまとめてあるが、一次対策工事や措置命令で出てきた分も含め、この処分場から出てきた有害物が何がどこにどのぐらい埋まっていたのかをまとめるのは、いつ頃になるか。

⇒現在まとめている途中で、できるだけ早く皆様にお示しできるようにしたいと考えている、と回答しました。

3. 令和元年度第 3 回モニタリング調査結果について

③H24-2 井戸の電気伝導度について、Ks3 層は順調に下がり現在 50 の値を切るが、Ks2 層は値が上がってきて現在 100 となっている。下の層の Ks2 層が上の層の Ks3 層より値が高いのはどのように考えたらいいか。

⇒この井戸の近辺の井戸でも電気伝導度の上昇傾向が見られており、何らかの(人為的な)影響を受けていると考えられるが、原因については明らかではない、と回答しました。

④県は、No.1-1 井戸の電気伝導度は地下水の流れから処分場の影響を受けていないと説明しているが、調査の結果から値が乱高下しており降雨で地下水の流れが変わり汚染していると思う。

⇒電気伝導度が高い原因については、以前の協議会で説明しており、浸透水と No.1-1 のイオンの比率を比較等の調査結果から処分場の水が直接 No.1-1 に行っておらず、地中に電気伝導度を上昇させる原因があるものと考えている、と回答しました。

⑤処分場内の汚染は均質では無く、場所によってバラバラであると考えており、基本的な状態が違うのは当然である。

⇒浸透水のイオンの比率は年によって変わることはなく場所ごとに一定の形を示している。ヘキサダイアグラムも含めて何種類かの調査を行った、降水による処分

場内の浸透水水位の上下による影響ではないと考えている、と回答しました。

⑥家庭系ごみの影響に関する調査について、評価対象項目の平均値が地下水環境基準に2年間適合することと書いているが、突発的に高い値が出た時は平均値が適合していても、その原因等を考えて評価していく方向ではなかったか。

⇒土地所有者としての責任からごみのモニタリング調査を行っている。毎回結果を報告し特筆するようなデータが出た場合はアドバイザーの先生方に確認をお願いしながら進めていきたい、と回答しました。

⑦小野自治会では総会になると経堂池は将来的に水質のモニタリングが終わるのかという質問がある。市の健康運動公園の基本設計に4月から入るといような話も出ており水の利用も考えておられるかもしれず、農業用のため池でもあるので、事業が終わっても県として年に何回かは続けていただくように検討をお願いしたい。

⇒経堂池は国道もでき様々な水が入ってくるようになり処分場の影響かどうかなかなか判断しづらい状況にあると思う。

来年度工事が完成すると、最終的に処分場の敷地内に降り注いだほとんどの雨水が調整池のほうに入って経堂池の方に入る構造になっているので、処分場の影響を正確に把握するため、しばらくの間はこの処分場のモニタリングを優先して進めさせていただきたい。その結果に基づき、何らかの変なデータが出るようであれば、また経堂池の調査も考えていきたいと思っている、と回答しました。

4. 当面の敷地管理について

⑧除草の対応については必要に応じてとあるが、住宅が隣接しているところはきちんと個別に対応をお願いしたい。

⇒現場の状況を確認し、相談させていただいて対応したい、と回答しました。

⑨水処理施設を作る時に地盤は安定的なものであるとか、ごみが埋まっているとか確認しているのか。RD社の事務所の跡地に建設されているので違法な廃棄物が埋められていないか不安である。

⇒資料を用意して説明させていただく、と回答しました。

5. その他

⑩ホームページに掲載してある工事情報の更新が止まっていた時期があり、しばらくして一度に更新されたが、何かあったのか。また、工事情報が全て掲載されているページと一部のみ掲載されているページがあり、重複している。

⇒工事情報の掲載がずれていたこともあったが改善し、現在は全て掲載している。今後気をつけていく。また、ページの重複については改善させていただく、と回答しました。

⑪雨水排水や洪水調整池の工事が終わる時に雨水が入るか確認したいので現場説明会を開いてもらえるか。

⇒水路に水を流すことはできないが工事が終われば見学会を開く、と回答しました。

⑫工事が終わった段階で今までのデータをいったん整理し、滋賀県としてどういう結果を出したのか、ここまでやったというような表明をしてもらいたい。

⇒工事が終わってもモニタリングを継続し5年後には工事の有効性の確認を皆様方と協議することになっている。工事の終わった段階についても皆様方とご相談させていただきたいと思う、と回答しました。

⑬この土地については県が持ち続けるということで理解してよいか。

⇒県が取得しているので責任を持って管理する、と回答しました。

⑭この問題が起きて栗東市は周辺の井戸の使用を禁止しているが、今後どういう対応をしていくのか。

⇒(栗東市) 現在年2回、広報で地下水の利用にあたっては引き続きご留意いただくようお願いしている。今後については、モニタリング結果を踏まえた中で、地下水を飲用利用される場合は、ご自身で12項目の検査を受けていただく必要があることを広報に掲載したいと考えている、と回答しました。

〈上記回答を下記の内容で訂正します〉

(栗東市) 現在年2回、広報で地下水の利用にあたっては引き続きご留意いただくようお願いしている。今後については、モニタリング結果を踏まえた中で、地下水を飲用利用される場合は、最初にご自身で51項目の検査を受けていただき、その後定期的に12項目の検査が必要であることを広報に掲載したいと考えている、と回答しました。

⑮工事が終わっていくが、年2回の使用制限の呼びかけをどの段階で見直すのか。

⇒(栗東市) 少なくとも工事完了5年後のモニタリングが終わり、この協議会で安全が確認できるまでは掲載したいと考えている、と回答しました。

⑯県は、今後の跡地利用についての考え方を議論するに当たって、この協議会の規約を改正したり、別の場の設定が必要になってくるということを考えていると思うが、極めて重要な論点であり今から考えていただけるといいと思うが、見直しはあるのか。

⇒まずは工事をきちんと完了して、皆様方に有効性を確認していただき、再度掘削等の工事が不要ないことを確認しないと跡地利用の本格的な検討は難しいと思っている。

連絡協議会で協議するのであれば要綱を変える必要があり、中浮気さんや栗東市の都市計画部局の考え方を聞かないといけないと思っている。いずれにしても、来年度は工事をきちんと終わらせていく中で、焦らず遅れずといった感じであるが、ここにおられる皆さん方の意見も聞いて決めていきたいと思っている、と回答しました。

⇒(栗東市) 本当にあの土地が安全という保証、皆さんの合意形成で安全ということになれば、本当に市民や近隣の皆さんのために有効活用できる方法を皆様方とご相談申し上げていきたいと思っている、と回答しました。